

2012年
8月15日

No.147

さざなみ

〒520-0043
大津市中央1丁目5-25
小堀マンション2030号室
さざなみネット
(金融労連・全国金融産業労働組合滋賀分会)

核兵器なくそう女性のつどい 2012inヒロシマ **核兵器も原発も なくなる社会を**

8月5日、核兵器なくそう女性のつどい2012inヒロシマが広島県立総合体育館で開かれ、1,000人が集いました。今年はより交流できる場にと、自由発言の時間をとり、多くの人々が登壇。舞台と会場が一体になりました。

さざなみネットの植木さんが参加され、感想を寄せいただきました。

一昨年に続きの参加です。夕方からの会議ですが、この時期、広島市内には「いろんな行事がある」と、聞いていたので、朝9時過ぎに広島駅に着きました。でも市内のメインは原水爆禁止世界大会なので、他の催しは「ちょっと異なった？」感じがしました。

昼前に平和公園へ。「原爆の子の像」の後方に千羽鶴をかける場所があります。その囲いの透明の部分に千羽鶴を色分けして素敵な絵が描かれていました。又像の横では「禎子と千羽鶴」の絵本を、紙芝居仕立てにして聞かせる女性といっしょに、チェロを奏でる男



女性のつどいの会場

性がおられ、ひと時暑さを忘れて聞かせてもらいました。

5時半からの「つどい」は、各国・各地で取り組まれている運動の報告です。みなさん、はつらつとしておられます。オスプレイ配備反対、核兵器なくせ、原発はゼロに、等々。福島の子女子高校生2人からは遭遇した者でなければ語れない、しかし2度と誰もが体験してはならないことでした。多くの人と手を携えて、核兵器も原発もなくなる社会の実現をと強く感じた集会でした。

緑と自然いっぱい 白夜の北欧への旅

6月20日から7月2日まで、スウェーデンとフィンランドを旅して来ました。いつもの旅友との2人旅です。
スウェーデンでは、ストックホルムと (裏面へ)



岩波 美智子さん 画



海のほとりの喫茶店・売店 ヘルシンキ

(前面より) ダーラフローダという小さな村に行きました。電車やバスの窓から見える景色は緑一色、線路脇、道端一面にルピナスやレースフラワーが雑草のようにいっぱい咲いています。バス停からホテルまでの道も花いっぱい、赤い小さなホテルで出迎えてくれたマダムは上品でチャーミングな素敵な人でした。偶然にもその日は夏至祭で近くの広場で村の人たちが集まり、ポールを立ててその周りを小さな子どもたちとパパとママが歌いながら踊る素朴な祭りでしたが、ほっこりする一時でした。とても癒される村でした。

フィンランドへは、ストックホルムからタリクシリアラインでヘルシンキまでのホテルと移動を兼ねたクルージングです。群島の間をゆっくり船出していきます。

ヘルシンキでは港へ旅友のお友達のカップルが、車で迎えに来てくれていました。英語を話せない私を気遣って、彼女はちょっとした日本語を覚えてくれていました。夜は彼らの家へ食事に招待してくれ

ました。3日間私たちのために細やかな心遣いでいろいろな所を案内してくれました。中でも国立公園の山をハイキングして、お昼にはソーセージのバーベキューが印象に残っています。

港で別れる時、私はフィンランド語か英語か日本語でお礼とさよならを言うかを一瞬考えました。するとマシュマロのような体でグーとハグしてくれました。その温かい思いやりに言葉が出なくて涙がこぼれました。

旅行の度に思っていたのですが、今回ほど英語が話せたらと思った旅はなかった。緑と自然いっぱいの白夜の北欧の旅でした。(坂下)



タリクシリアライン

原水爆禁止2012年世界大会-広島決議 広島からのよびかけ

67年前の8月6日、アメリカの投下した一発の原爆は、広島を街を壊滅させ、この世の「地獄」をつくりだしました。いまなお被爆者は、「からだ」「こころ」「くらし」の苦しみにさいなまれています。

核兵器の使用は人類に対する犯罪です。核兵器は一刻も早く禁止し、廃絶しなければなりません。

福島原発事故の被害が続くなか、日本中で、原発ゼロをめざす市民の声と行動がわき起こっています。いのち、くらし、平和をまもる運動も大きくひろがっています。これらの高まりに呼応して、「核兵器のない世界」をめざす運動をさらに発展させるときです。

核兵器禁止条約の交渉開始を求める声は、国際政治の舞台にも、大きく響きわたっています。私たちの集めた署名は、世界の声のシンボルとして、国連本部に展示されています。私たちの声に呼応して、核兵器の非人道性から、その禁止を求める政府の動きもひろがっています。核兵器の廃絶へ、いまこそ行動を強めましょう。

「核兵器全面禁止のアピール」署名の運動を、地域ぐるみのとりくみで、秋の国連総会や来年のNPT再検討会議準備委員会を節目として、大きく発展させましょう。

被爆者とともに、原爆展のとりくみをさらにひろげ、被爆の実相、核兵器の残虐性を広範な人びとに知らせましょう。原爆被害の過小評価を許さず、被爆者施策

の抜本的改善と国家補償を求め、被爆者援護・連帯の活動をいっそう強めましょう。

日本政府に、被爆国にふさわしい役割を果たすこと、核持ち込みの日米密約の破棄と「非核三原則」の厳守、「核の傘」からの離脱を強く求めましょう。

沖縄はじめ各地での運動を強め、オスプレイ配備をやめさせましょう。普天間基地をはじめの日米軍基地の撤去を求め、原子力艦船の配備や寄港に反対しましょう。憲法9条を守り活かす運動をさらに強めましょう。

「放射線によって苦しむ人びと」をつくらないという願いをひとつに、原発ゼロをめざす運動との連帯を発展させましょう。核兵器と原発の関係や放射線被害の実態、核エネルギーの軍事利用の非人道性について、広範な人びととともに学び、語り合ひましょう。

原発事故の原因と責任を明らかにし、被害者への補償と健康管理、除染と復興などを実現させましょう。原発からの撤退と自然エネルギーへの転換を求め、共同をひろげましょう。

市民、自治体、政府、国連が力を合わせ、いまこそ「核兵器のない世界」への扉を開きましょう。

2012年8月6日

原水爆禁止2012年
世界大会・広島

